平成22年度 決算説明書/事務事業評価シート

部局名産業経済部課室名商工観光課

又 質	款	項	目	決算書	<u> </u>
」	7	1	3	174	頁

	目	名	
観光費			

事務事業名称 観光振興補助事業

1. 概要

目的	交流を促すことを目的に関係団体に対して補助金を交付する。	対象	市民
事業概要	○観光協会補助事業・・・地域に根ざした観光事業に取組み、地域の活性化およびまちづくりをおこなう ○関連団体助成事業・・・関連団体との情報の共有および協力により、共同して地域活性化に貢献する [対象:各イベント実行委員会〈40,102千円〉 ツーリズム大分〈298千円〉 全国まちの駅連絡協議 祖母・傾山山開き実行委員会〈135千円〉等]		対象:観光協会] 11千円>

臨/経	事業名	事業内容(主な	(経費生)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財源	内訳		評価
HARL VILL	 	サネドロー(エイ		(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	рт іш
経常	観光協会補助事業	観光協会運営補助金	負担金補助 及び交付金	13,361	13,217				13,217	3
経常	関連団体助成事業	関連団体助成金	負担金補助 及び交付金	43,660	40,844				40,844	3
		計		57,021	54,061	0	0	0	54,061	

2. 指標設定

		_										
成	指標名	票名 観光入込客数		目	Image: control of the				指標の設定理由			
果	111777	_	既ルハと音数	標	L	127	豊後大野市外から	後大野市外からの観光入込客数を増加させることを指標とし、数値設定は平				
指 標	数值	效值 2,094,000人		年度	•		豆皮入野川がからの観光へ込む数と増加させることを指標とし、数値設定は平成20年度時点の道の駅のレジ客数の2.5倍とした					
活 動	指標	а	観光イベント集客数	Į.	b			С		d		
指 標	数值	目標	264,000人	E	目標			目標		目標		

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 0		H 2 1		H 2 2	
観光入込客数	ı	1,675,000	人	1,724,000	人	1,880,000	人
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_ ^	80.0	%	82.3	%	80.2	%

4. 課題と対応

課題
イベントに対する経済効果の結びつきが懸念されている
対応(改善点等)
イベントを抜本的に見直しを行うこととしている

活!	活動指標名		H 2 0		H 2 1		H 2 2	
а	観光イベ	Į.	221,000	人	219,000	人	221,000	人
а	ント集客数		83.7	%	82.9	%	83.7	%
b								
С								
d								
u								

5. 事業費・・・H20~H22 (決算額)、H23 (予算現額)

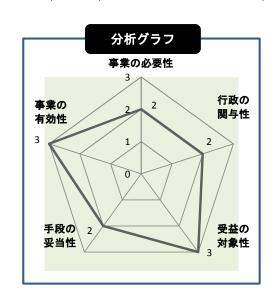
油	算額 (千円)	H20	H21	H22	H23
	并 识 (11]/	15,951	56,345	54,061	58,509
	うち経常経費	13,841	53,703	54,061	58,509
	国 費				
財	県 費				
源	市債				
内訳	その他				
九	一般財源	15,951	56,345	54,061	58,509
	うち経常	13,841	53,703	54,061	58,509
事	業費に係る人件費	3,396	3,200	3,153	3,311

6. H24年度予算の方向性

方向性	
減額	
理由	
イベントに対する補助金の見直し を行うため	

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	2	一部イベントに関しては見直す必要がある
② 行政の 関与性	責任領域の精査	2	行政と住民との責任分担の見直しをする
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	イベントによる交流は市民に寄与するため
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	2	目標達成のために適切な手段であるが、 検討の余地がある(経済効果への結びつけ)
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	3	期待どおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

О. Ранригима	CRAHM (CRAHM)
事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱に則り見直しを行うこと